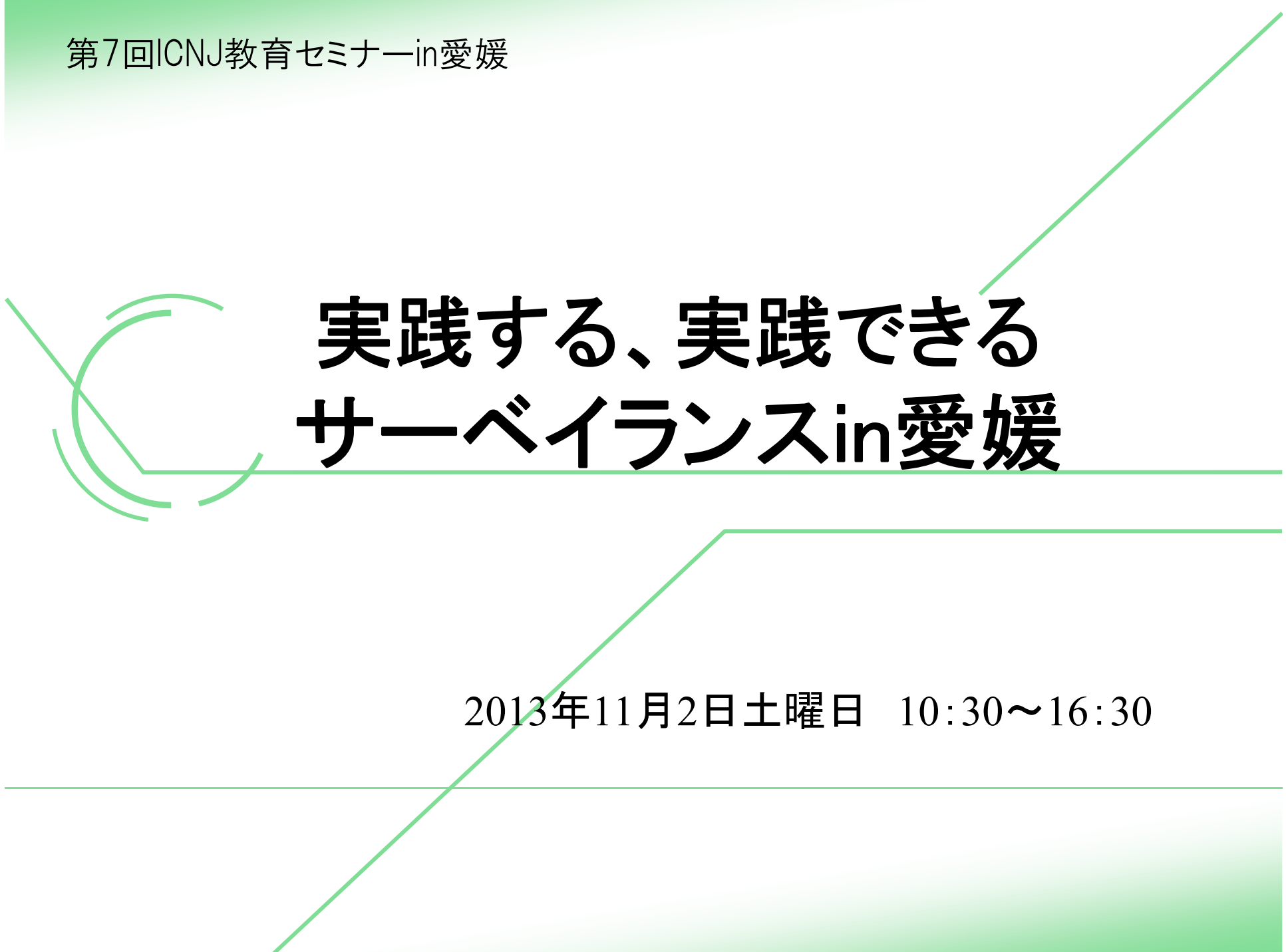


第7回ICNJ教育セミナーin愛媛



実践する、実践できる サーベイランスin愛媛

2013年11月2日土曜日 10:30～16:30

愛媛県松山市 リジェール松山で開催しました。

参加者：28名

秋晴れの中、松山城を眺めながら、
充実した有意義な研修となりました。



「感染管理で活用できる 統計学の基礎」

東京大学医学部附属病院
臨床研究支援センター
中央管理ユニット 特任専門職員
藤田 烈先生

《参加された方の感想》

- ☆日常では検定等、実施することが少なく、復習になりました。
- ☆基本的なP値の説明や考え方を話してくださったので、理解できたと思います。
- ☆統計学についての復習と理解を深めることができました。



「NICU・GCUにおける MRSAアウトブレイク対応の実際」



山口大学医学部附属病院
感染制御室 感染対策担当師長

小坂 まり子 先生

《参加された方の感想》

☆アウトブレイクの実際と評価分析ができ
参考になった。

☆当院もNICUのMRSA対策について検討
中であり、参考になりました。

☆実際の経験から対応された内容について
詳細をお話しいただき参考にさせていただ
きたいと思います。

演習：アウトブレイク調査ケーススタディ 「セレウス菌血流感染アウトブレイク？」

【GW進行・ファシリテーター】（敬称省略）

崎浜智子 筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター 水戸協同病院

【演習サポーター】（敬称省略）

1G: 赤峰みすず 大分大学医学部附属病院

2G: 妹尾千賀子 島根県立中央病院

3G: 神崎多紀子 総合病院 山口赤十字病院

4G: 水上由美子 自治医科大学附属さいたま医療センター

5G: 大崎 角栄 新潟市民病院

6G: 藤永 聡 山口県厚生連 長門総合病院



演習についての感想

大変参考になった 18名

参考になった 8名

※「参考にならなかった」
の回答はありませんでした

☆分かり易くアウトブレイク時の統計処理、考え方がよくわかった。

☆記述疫学の手法が少し理解できた。実際にBacillusのアウトブレイクを昨年の夏また今年も経験した。疫学統計での調査は未なのでトライしてみたい。

☆対応したことがないので、実際に即していてわかりやすかったです。

☆グループワークすることでアウトブレイク時の対応について理解を深めることができました。

☆実際にパソコンと事例をてらし合わせて学べてよかった。

☆事例をつかって大変おもしろかったです。

アンケート結果

～ご協力ありがとうございました～

- 参加人数 28名
- アンケート回収 27名（回収率96.4%）

認定資格取得後の年数

1年未満	5
1～5年	9
6～10年	7
11年以上	3
回答なし	2
合計	26

認定看護師26名、看護師1名

